



三学期 始業式

新型コロナウイルス・オミクロン株の感染・拡大予防のため、三学期のスタートは校内放送で始業式を行いました。

校長講話

三学期は、どの学年の生徒にとつても現在の学年の集大成の学期となります。三年生は卒業と進路実現に向けて、一・二年生は次の学年のゼロ学期です。大生は二度ありません、卒一

という一瞬をしっかりと生きていきたいものです。一日一日を大切に生きていく。今を精一杯生かせる。今できることに最善をつくしていきましょう。

教務部長講話

・勉強しいや「学年総仕上げの勉強十次の学年(三年生は社会人)になったつもり準備を。
・知識は組み合わせよな」新たなものを作り出すのは既存の知識の組み合わせ、得た知識を使ってみたり、組み合わせを試してみよう。
・自分だけのドキドキ「逃がさないで、勉強を通じて自分だけの発見をしよう。」

その後、校内放送で校長先生より震災時の経験のお話をいただき、各クラスで震災体験談を資料に学習を行いました。震災を知らない世代が増えていく中、生徒らは災害を忘れず、記憶を受け継いでいく大切さを感

じたようです。

震災追悼行事



一月十七日(月)に、阪神淡路大震災の追悼行事を行いました。二十七年前の平成七年一月十七日午前五時四十六分に阪神・淡路大震災が発生し、多数の犠牲者と未曾有の被害をもたらしました。

いのちの大切さ

び教室

一・二年生を対象に「命の大切さ学び教室」を実施しました。各「び」教室で担任の先生を中心に授業が行われました。一年生は、「知っておこう 青年期のころとからだ」をテーマに、自

分の体と心に目を向ける大切さを学びました。二年生は、「主手な聴き方を身につけようー大切な友だちと自分を守るためにー」をテーマに、友達から相談を受けたときの対応の方法をロー

大掃除

一月三十一日(月)、三年生にとつては自由登校期間前の最後の登校となりました。三年間お世話になった校舎に感謝の気持ちを込めて、少しでもきれいな校舎を後輩たちに引き継ぎます。掃除の後には学年集会を実施し、学年団から温かいメッセージを受け取りました。



～一粒万倍～

1月は、新型コロナウイルス感染症の変異株(オミクロン株)が猛威を振るい、感染症対策をより一層徹底しての教育活動となりました。本校も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて3学年が学年閉鎖(1月18日(火)～1月23日(日))をしましたが、1月24日(月)からは元気に登校し、残りの学校生活の1日1日を大切にしながら過ごしました。3年生は2月から自宅学習期間に入り、卒業に向けて、進路実現に向けて各自が目標をもって頑張っているところです。1、2年生については、中止をせざるを得ない学校行事もありましたが、感染対策を講じながら何とか教育活動を進めているところであります。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われますが、はや1年の1/2分の1が過ぎてしまいました。令和3年度の締めをしっかりとしたいものです。



神崎高校HP
はこちら↑